

ICM 国際メディカル専門学校・学校通信

日頃より本学の専門教育にご理解をいただき誠にありがとうございます。国際メディカル専門学校では、医療・福祉の現場で即戦力として活躍できる人間力育成を目標とし、下記の教育方針に基づき様々な角度から教育を行っています。年間の主だった活動状況を、保護者様とも情報共有させていただきたく、本通信にて2019年度の活動の様子についてご報告させていただきます。今後とも就学生活の様々な面において保護者様からのご理解ご協力をお願い申し上げます。

《人間力育成のための学校教育方針》

実践行動学	自らの夢を描き、実現のための目標を明確にすることで、モチベーションを向上・維持し、また諦めず継続的に学習し目標達成に向け前向きに行動することができる。
礼儀・礼節	あいさつは人間関係の最も重要なコミュニケーションであり、笑顔で元気にあいさつを交わすことができ、状況に応じた正しい言葉遣いや行動ができる。これらの言動を通して感謝の心を持つことができる。
清潔	自らの身だしなみを整え、校舎内・外の環境をきれいに保つことで、自らの心を磨くことができる。
地域貢献	地域行事への参加を通して地域に関心愛着を持ち、地域社会の一員であることを自覚することができる。
国際理解	海外研修や留学生との交流を通して、異文化を受け入れ、素直で他を尊重する精神を持つことができる。
奉仕	ボランティア活動を通して、他人を思いやる謙虚な気持ち、公共のために尽くす心を持ち、人と人とのつながりを実感することができる。
集団行動	集団の中で他者と協調し、達成すべき目標や行うべき行動の実現を通して、リーダーシップを学び自ら果たすべき責任や役割の重要性を身に付けることができる。

【実践行動学研修・新入生交流（チームビルディング）】

新年度、186名の新入生を迎え4月のスタートを切りました。4月初めには目的を明確にし、それぞれの個人目標を掲げて春のスタートを切るための動機付けプログラムとして「**実践行動学研修**」を実施しています。入学に至った経緯や思いは個々様々ですが、研修ではグループワークを通して、自身の意見を発表したり、他者の話にも共感することで、当校で学んでいくことの意義や志しを持つことを目的としています。さらに上位学年では「自分の可能性を広げる」「社会に出る準備」といった共通テーマに沿って同研修を行います。また、新入生に対しては、新たな環境で新しい仲間と積極的なコミュニケーションを図り、学科の垣根を超えた友人作りも目的とした「**新入生交流イベント（チームビルディング）**」を実施しています。学科混在のチームをつくり、知恵を出し合いながら協力して課題解決をしていく交流イベントです。今年度は、春晴れの下、最寄りのスポーツ公園にて少し身体を動かしながら様々なアトラクションに取り組みました。医療の現場においては他職種の役割も理解・尊重し、一人の患者様をサポートする「**チーム医療**」の考えが大切となります。新入生には、これからの学校生活の中での協調性、リーダーシップ、相手への思いやり、積極的なコミュニケーションなどを様々な行事を通して学んでいただき、「**チーム医療**」の一員として成長していただきたいと期待しています。



【国際理解（海外研修、留学生交流会）】

「国際理解」の教育方針に基づき、2年次研修において**海外研修**への参加を推進しております。今年度はシンガポール、グアム、台湾の3コースにて研修を実施させていただきました。現地の医療福祉施設の見学をさせていただき、日本との違いや共通点についても学ぶことができました。また、現地学生との交流機会もそれぞれ持っています。言語はもちろん、文化も異なる人とのコミュニケーションは簡単ではありませんが、参加学生たちは英単語やジェスチャーなども交えながらコミュニケーションを図る様子が見受けられました。

また、NSG カレッジリーグ姉妹校では多くの留学生が語学や日本の文化について学んでいます。当校では留学生招き、**留学生交流会**を年2回（夏・冬）実施しています。今年度は、「たこ焼きパーティ（夏）」、「クリスマスパーティ（冬）」をそれぞれ企画し、和やかな雰囲気楽しくコミュニケーションを図りました。

グローバルが進む現在社会において、万国共通言語としての「英語力」の必要性は増えています。それぞれの専門分野の修学はもちろんですが、医療人であると共に国際的な人材を目指す切り口で、在学中の英語力の強化に取り組んでいきたいと考えております。さらに、若いうちから今後の世界の変化に関心を持ち、身近なところから異文化に積極的に触れてほしいと願っています。次年度対象学生の海外研修参加の推進に対しましても何卒ご理解ご協力のほどお願い致します。



【NSG カレッジリーグ合同イベント】

NSG カレッジリーグでは、スケールメリットを活かした学生交流イベントを複数実施しています。合同入学式や卒業式もその一環です。学校という枠をさらに超えて、同じグループの中で様々な分野で日々学んでいる学生同士の積極的な交流を目的として実施しておりますので、ご理解ご協力のほどお願い致します。

NSG 夏フェス (大学園祭)

今年で4回目となるNSG夏フェスが7月朱鷺メッセにて行われました。2日間に渡り模擬店や学校紹介ブースを出店、各種アトラクションやステージイベントも複数実施され、毎年参加動員約4万人を超える大イベントとなっています。当校学生たちもそれぞれのブース、模擬店で任された役割をこなしながら、イベントを楽しんでいました。次年度は7月11、12日開催を予定です。保護者の皆様も是非会場に足をお運び下さい。



明和義人祭&にいがた総おどり

新潟市古町で行われる祭りイベント「明和義人祭」や全国から踊り手が新潟に集う日本最大級ダンスフェスティバル「にいがた総おどり」に参加しています。今年はいずれのイベントにも元気な新入生が多数参加し、イベントを盛り上げてくれました。学生皆さんには、自ら積極的に参加し“今しかできない”思い出をたくさん作って、有意義な学校生活を送っていただきたいと願っています。



大運動会・カレッジリーグスポーツサークル

第6回目となるNSGカレッジリーグ生総勢5,000人規模の大運動会(会場:デンカビッグスワン)が10月に行われました。ICMは合同青色チームで参加し、今年度は見事“準優勝”でした。各競技に加え、全員参加型のアトラクションなども催されました。普段の学内環境から少し離れて、開放的な雰囲気に参加する学生の様子が垣間見えました。

また、今年は姉妹校のASCアップルスポーツカレッジ主導の「NSGカレッジリーグスポーツサークル」が発足し、ICMからも複数学生が参加登録しました。スポーツを通して、学校間の学生交流が図られた様子です。



【チーム医療講演会】

ICMでは、「チーム医療講演会」と題し、年2回の全校参加型講演会を実施しています。講演内容は、医療に関するテーマに留まらず、動機付けに主眼をおき開催しています。

12月講演（こちらは学生を介して保護者様にも参加案内させていただきました）は演者に 的場 亮 先生 をお招きし、「一瞬の感動を人生のきっかけに」というテーマでご講演いただきました。先生の実体験も交えながら、心×技×体のバランスを保つための自己コントロールについて、そして自分の支えとなってくれている人への感謝について、学生・教職員共に心が動かされるお話をいただきました。実施後のアンケートからも共感と共に前向きな感想が多数寄せられ、特に、国試検定受験を目前に控えた学生にとって、受験に臨むための勇気をもらった講演であったと実感しております。



New Topics 「高等教育修学支援新制度（2020年4月～）」の認定を受けました

2020年4月から国（文部科学省）の新制度「高等教育修学支援新制度」が始まります。このたび、当校も本制度の認定校となりました。世帯収入などの要件に合う学生に対し、専門学校・大学等への進学を経済的に支援するもので、「授業料等の減免」と「給付型奨学金」の2つの支援を合わせることで、高等教育機関で安心して学んでいただくための制度です。

在校生（進級予定者）に対しては、昨年11月にご案内させていただき、現在は支援を希望される学生の申請結果待ちの状況です。なお、支援を受けるにあたっては、しっかりと授業に出席をし、計画的に勉強に臨んでいただくことが求められています。成績不良や、出席が足りない場合などは支援の打ち切りや、場合によっては返還が必要になることもございますのでご注意ください。



詳しくは 高等教育の修学支援新制度特設ページ（文部科学省）

【国家試験・目標検定に向けて】

各科最終目標の国家試験、検定が迫って参りました。本年より看護師国家試験会場に新潟県（実会場は発表前）が加わり、ICM看護受験生にとっても試験に臨みやすい環境となりました。例年通り「全科全員合格達成」を共通の合言葉に、受験指導と動機付けに力を注いでおります。講演会でも学びました“心×技×体”のバランスを整え、本番にて最大限の力が発揮できるようにサポートして参ります。

保護者様からも励ましの言葉をかけてくださいますようお願い致します。

- 診療情報管理士認定試験（試験日：2月 9日 会場：新潟 / 発表：3月23日 日本病院会 HP）
- 看護師国家試験（試験日：2月16日 会場：新潟 / 発表：3月19日 厚労省 HP）
- はり師きゅう師国家試験（試験日：2月23日 会場：新潟 / 発表：3月26日 厚労省 HP）
- 臨床工学技士国家試験（試験日：3月 1日 会場：東京 / 発表：3月26日 厚労省 HP）

本通信は、学校全体の取り組みに関する報告となっています。学科または学生個人に関する報告や相談に関しては、それぞれ学科担当、クラス担任を通じてご確認ください。なお、学校ホームページブログ、Facebook 専用ページ、YouTube 専用チャンネル、Instagram などでも、イベントや活動の様子を随時配信しております。それぞれのチャンネルには下記学校ホームページから入れますので是非ご覧下さい。



学校通信記事編集担当：教務部 佐藤秀幸

学校ホームページ URL <https://www.icm-net.jp/>